

### 第 1 回芥川作曲賞決まる

高橋 裕氏の作品「Symphonic Karma (シンフォニック・カルマ)」に

「芥川作曲賞」の第 1 回受賞曲は、8 月 2 7 日 (火) 午後 6 時 3 0 分より東京、サントリーホールで演奏会形式による公開選考の結果、高橋 裕氏の作曲による「Symphonic Karma (シンフォニック・カルマ)」に決定した。同氏には賞状とあわせて賞金 5 0 万円がおくられる。

芥川作曲賞は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念してサントリー音楽財団が (社) 日本作曲家協議会の協力をえて昨年春に創設したもの。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考するという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっている。

#### 第 1 回芥川作曲賞 選考経過

1. 平成 3 年 5 月 9 日 (木) 午後 1 時より東京紀尾井町、ザ・フォーラムにおいて予備選考会を開催。平成 2 年 4 月 1 日より平成 3 年 3 月 3 1 日の間にわが国において初演された新進作曲家の作品 5 4 曲を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわしい清新にして豊かな将来性を秘めた下記 4 曲の作品を「第 1 回芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は團伊玖磨、松村禎三、黛敏郎の 3 氏。(5 0 音順)



鈴木 輝昭作曲

<ヒュムノス> - 2 群の混声合唱とオーケストラのための

'Hymnos' pour Double chœur et Orchestre

(初演: 1 9 9 0. 5. 2 6 「第 1 6 回民音現代作曲音楽祭」)

尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 / 東京混声合唱団)



小鍛冶 邦隆作曲

オーケストラのための <愛の歌>

Chant d'amour pour Orchestra

(初演：1991.2.7「現代の音楽展 '91」

小鍛冶邦隆指揮 東京交響楽団)



佐藤 昌弘作曲

オーケストラのための〈パースペクティヴ・オヴ・タイム〉(時の展望)

Perspective of Time for Orchestra

(初演：1990.6.6「現代日本のオーケストラ音楽第14回演奏会」

外山雄三指揮 東京交響楽団)



高橋 裕作曲

Symphonic Karma

シンフォニック・カルマ

(初演：1990.7.31「〈時の会〉管弦楽作品展」

岩城宏之指揮 東京フィルハーモニー交響楽団)

(演奏順)

2. 平成3年8月27日(火)、午後6時30分よりサントリーホールにおいて上記4曲を公開演奏。(指揮 小松一彦、新日本フィル、東京混声合唱団) 演奏終了後、15分の休憩をはさんで、直ちにステージにおいて3選考委員による公開討議を行なった結果、第1回芥川作曲賞受賞曲に、高橋 裕氏の作曲による「Symphonic Karma (シンフォニック・カルマ)」が選定された。

3. 公開選考終了後直ちに同ステージにおいて贈賞式が行なわれ、サントリー音楽財団理事長・佐治敬三より賞状、賞金(50万円)が授与された。

なお、高橋 裕氏には、サントリー音楽財団より交響管弦楽曲の新作が委嘱され、完成次第同財団主催のコンサートで初演される。(委嘱料100万円)

高橋 裕 (たかはし ゆたか)

<受賞理由>

仏教でいう「業」の世界をリアリティあるオーケストラの音響で実現したことが高く評価された。

## <略歴>

1953年8月20日生まれ。京都府京都市出身。1977年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。1980年同大学院終了。同年管弦楽曲「Sinfonia Liturgica」が日本交響楽振興財団第2回作曲賞において入選。1983年合唱と管弦楽による「般若理趣交響曲」が世界仏教音楽祭作品コンクールにおいて第1位受賞。1987年「弦楽四重奏曲」が国際カール・マリア・フォン・ウェーバー室内楽コンクールにおいて第1位受賞。1988年藤堂音楽賞受賞。池内友次郎、松村禎三、黛敏郎の各氏に師事。

## [ご参考]

### 「芥川作曲賞」について

#### 1. 名称

「芥川作曲賞」

#### 2. 選考対象

毎年、4月1日から翌年3月31日の間に国内で初演された（放送を含む）新進日本人作曲家による交響弦楽曲の中からもっとも清新かつ将来性に富む作品1曲を選定します。

※第1回芥川作曲賞は、1990年4月1日より1991年3月31日の間に国内初演された新進日本人作曲家の作品が対象となりました。

#### 3. 選考委員

芥川作曲賞運営委員会（サントリー音楽財団より4名、日本作曲家協議会より3名、計7名で構成）が数名の選考委員を委嘱します。（初年度は、團伊玖磨、松村禎三、黛敏郎の3氏で、いずれも芥川氏と特に親交の深かった作曲家の方々。）

#### 4. 賞

- (1) 賞状、賞金50万円。
- (2) 受賞作曲家に新しい交響管弦楽曲を委嘱します。委嘱料100万円。
- (3) 委嘱作品は完成後、サントリー音楽財団の主催する公演で初演します。

#### 5. 選考方法

- (1) 第一次選考委員会において候補作品数曲を選出します。
- (2) 公開演奏会形式で最終選考会を開きます。選考方法としては、まず候補作品数曲を一括演奏し、終了後その場で選考委員が公開討議を行ない、受賞作1作を選定、贈賞します。

#### 6. 贈賞期間

1991年より2000年までの10年に10回の贈賞を行ないます。

以 上